

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【経済産業省】

施策番号	27138	施策名		先進空力設計等研究開発			
新規／継続	継続	領域	グリーン・イノベーション	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	
競争的資金		e-Rad	○	社会還元			
施策の目的及び概要	航空機、高速鉄道、船舶等の輸送機器等においては、空力設計技術の高度化による燃費向上や騒音低減が大きな課題。これら課題を克服するため、最先端の空力設計技術等の研究開発、実大規模での技術実証を行う。						
達成目標及び達成期限	平成25年度までに当該技術を確立し、平成26年度以降の実用化を目指す。						
研究開発目標及び達成期限	平成23年度までに空力設計技術等を開発し、平成25年度までに当該技術の実大規模での技術実証試験を完了する。						
23年度の研究開発目標	平成23年度中に、実大規模の供試体の製作を行い、実証試験の準備を行う。						
施策の重要性	低燃費・低炭素・低騒音の観点から優れた特性を有する先進空力設計技術等の、航空機、自動車、鉄道、船舶等の輸送機械等における適用範囲を拡大し、製造業全体の高度化への寄与が期待出来ることから、ものづくりの産業振興の研究開発を推進する上で重要な施策である。						
実施体制	研究開発主体は公募により決定。本研究開発に合わせ、民間側(補助事業者)が大学との共同研究による連携体制を構築。 得られた成果は民間側(補助事業者)が実用化・普及の担い手となる予定。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
3,330				3,330			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				—			
H23概算要求額の内訳	機械装置等費:3,307 労務費:19 その他経費:4 —						
期間	H20～H25			資金投入規模(億円)		212	
これまでの成果(継続のみ)	遺伝的アルゴリズムを用いた先進空力設計技術の開発・改良等を行い、実大規模の供試体の空力仕様の決定等を行った。また、図面・工程等のデータを一元管理する開発・生産システム技術の仕様設計、システムの開発を行った。						
社会情勢・技術の変化(継続のみ)	燃料費高騰は我が国産業に大きな影響を与えており、特に、自動車・鉄道等の輸送機器全般、風車やタービン機械等のエネルギー関連機器等においては、空力設計高度化によって燃料消費効率を向上させることが重要な課題となっている。また、高速鉄道、航空機などの輸送機器については、騒音レベルにより、利用や経路の制約を受けるという問題があり、効率的な運用ができない場合もあるため、騒音の低減もまた大きな課題となっている。これらの課題に対して、最先端の空力設計技術等を開発することが必要である。						
			(昨年度優先度判定時の指摘) ○ 民間機等の輸送機械のインテグレーション技術を構築するための重要な研究開発である。				

昨年度優先度判定 (継続のみ)	着実	優先度判定時の指摘 への対応(継続のみ)	○ プロジェクトを遅延なく推進し、我が国航空機等の製造業の発展に寄与すべく着実に実施すべきである。 (上記指摘への対応) プロジェクトを遅延なく着実に推進するため、必要な予算の確保に努めている。
国民との科学・技術対 話推進への対応(対象 施策のみ)		次回公募時にアウトリーチ活動の実施を評価要件として加える予定	